

企画振興常任委員会会議録

1 開会の日時及び場所

- (1) 日 時 令和7年3月13日(木) 午後2時50分開会
(2) 場 所 清川村庁舎 3階 第2・3会議室

2 委員現在総数 5名

3 出席委員数 5名

- (1) 出席委員 城所英樹委員長・笹原和織副委員長
細野洋一委員・藤田義友委員・細野賢一委員
(2) 事務局 井上竹夫事務局長、佐藤周平副主幹

4 欠席委員数 なし

5 説明職員 なし

6 傍聴者 2名

7 案 件

(1) 陳情審査について

- ① 陳情第6-14号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

(2) その他

8 経 過

◎ あ い さ つ 落合美和委員長

◎ 議 事

(1) 陳情の審査について

- ① 陳情第6-14号『「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書』を議題とし、井上事務局長から陳情に係る状況等を説明後、陳情に対する意見を求め、討論・採決を行う。

○ 意 見

* 笹原和織副委員長(趣旨了承)

最低賃金の引き上げによって低賃金労働者の生活改善が図られるということはその通りだと思います。他方で中小企業がそのあ

おりを最も受けるところであり、中小企業の対策を求めるこの陳情書の趣旨というのも理解できる。来年度予算編成を見ると、中小企業に対する苦しい部分が現実に見えてくるところであり、全面的に賛成とは言い難いと思う。よって、趣旨は分かるが、最終的な判断は国に判断させるということで、趣旨了承としたい。

* 細野賢一委員（不採択）

最低賃金と中小企業の支援は分けて判断すべきであり、今の中小企業の状況では、賃上げを行うことは厳しいと感じる。よって中小企業の状況が良くなったあとに最低賃金の話をしたほうが良いと思うので、本陳情は不採択としたい。

* 細野洋一委員（不採択）

最低賃金が引き上げられれば所得格差の縮小、労働力の確保になるというメリットもある。また、物価も高騰している最中であり、国民生活も大変苦しい状況にある中、大企業は高めにベースアップされているが、中小企業は物価高や光熱費など生産コストに転嫁ができないことで賃上げが難しい状況がある。よって、中小企業の課題も理解できますし、最低賃金の引き上げの必要性も理解できますので、バランスが取れると一番良いと思うので、私は不採択の意見です。

* 藤田義友委員（趣旨了承）

本陳情の趣旨は分かるが中小企業に対しても改革が必要ではないかと思う。よって趣旨了承としたい。

○ 討 論

* 笹原和織副委員長（趣旨了承）

意見と同様の理由で、趣旨了承が妥当と思います。

* 細野賢一委員（不採択）

意見と同様の理由で、不採択が妥当と思います。

* 細野洋一委員（不採択）

意見と同様の理由で、不採択が妥当と思います。

* 藤田義友委員（趣旨了承）

意見と同様の理由で、趣旨了承が妥当と思います。

○ 採 決

不採択及び趣旨了承が同数となったことから委員長採決となり「不採択」に決定する。

(2) そ の 他

◎ 閉会あいさつ 笹原和織副委員長

9 閉会の日時 令和7年3月13日（木）午後3時30分閉会

上記のとおり相違ないことを証する。

令和7年3月13日

企画振興常任委員会委員長 落合美和

